

5 環境パートナーシップの推進



環境保全活動や環境教育・学習の充実など、市、市民・市民団体、事業者の協働による環境の保全等が進められるまちをめざします。

5-1 環境教育・環境学習の推進

(1) 環境教育・環境学習の推進

市民一人ひとりが日常生活と環境との関わりについて理解し、生活環境の保全や自然保護に配慮した環境教育を推進していくために、学校、教育委員会及び市がそれぞれの役割で、効果的な環境教育基盤の整備に努めています。

① 環境教育

市では、地域にある様々な環境を活かした環境教育を推進しています。

児童・生徒の発達段階を考慮し、各教科・特別の教科道徳・特別活動・総合的な学習の時間をはじめとした教育活動全体を通して、よりよい環境づくりのために主体的に行動する子どもの育成を図っています。令和2年度は、市内小学3年生に「あさかのかんきょう」を、6年生には「朝霞の地層たんけんマップ」を配付し、環境学習に用いました。また、環境教育全体計画の作成と実施及び地域の環境の積極的な教材化等を実施しました。

また、身近な朝霞の自然を取り入れた資料集を作成し、生活科・理科及び総合的な学習の時間等の授業で活用を図っています。令和2年度は、小学校理科資料「花たんけんマップ」と、「虫の世界」(市内小学3年生に配付)、「朝霞の地層たんけんマップ」(市内小学6年生に配付)を発行し、また、中学校理科資料集「朝霞の植物」や「朝霞の水生生物」(市内中学1年生に配付)、「朝霞の土壌動物」(市内中学3年生に配付)を発行しました。

② 環境教育の支援

市では、市民が自ら企画実施する学習講座において、経費の一部を補助し、学習機会の形成を促すとともに、市と市民との協働による生涯学習活動の推進を図っています。令和2年度は、環境学習に関するものとして、1団体に対し、補助金を交付し活動を支援しました。

③ 環境学習への支援

例年、夏休みに開催される「黒目川・川まつり」(黒目川・川まつり実行委員会主催)は、身近な環境である黒目川に親しみながら、川の水を守ることの大切さなどを学ぶ場として、市としても協力しています。

(2) 啓発活動の推進、環境情報等の充実と発信

① 環境情報の収集と発信

環境問題に対する理解を深めていただくため、広報や市のホームページに環境関連の記事を掲載するとともに、年次報告書「朝霞の環境」を作成し、その周知と啓発に努めました。

② 環境美化ポスター募集

例年、子どもたちに環境美化に対して関心を持ってもらうため、市内の小学3年生・6年生を対象に、美化ポスターを募集しましたがコロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

【環境美化ポスター 応募数】

令和2年度	中止
令和元年度	185点（3年生 99点、6年生 86点）
平成30年度	150点（3年生 77点、6年生 73点）
平成29年度	108点（3年生 68点、6年生 40点）

③ 環境美化活動功労者

多年にわたり地域の環境美化・清掃美化に尽力された個人・団体の功績をたたえ、令和2年度は9人に対し、環境美化活動功労者として市から感謝状を贈呈しました。

【令和2年度 環境美化活動功労者】

(敬称略)

氏名	活動年数	氏名	活動年数
とみおか ともはる 富岡 友治	30	あきやま やすみ 秋山 康純	6
もとはし けんいち 本橋 健一	24	しおの たいぞう 塩野 泰三	6
えいの しげる 宮野 茂	10	はやし たかこ 林 隆子	6
おの いさお 小野 勲	10	しおの ひろかつ 塩野 広勝	5
ひろた あやこ 弘田 綾子	10		



環境美化活動功労者の皆さん

【環境美化活動功労者数】

年度	団体数・人数
令和2年度	9人
令和元年度	13人・1団体
平成30年度	4人

④ きれいなまちづくり運動

市では、快適な環境づくりを推進するため、町内会・自治会の協力を得て、春と秋の年2回、きれいなまちづくり運動を実施しています。この運動は、それぞれの地域で道路や河川敷に捨てられているごみを拾う環境美化活動であるとともに、自分たちのまちの環境美化に対する意識の向上に関する啓発を図っています。

【きれいなまちづくり運動実施状況】

年度	実施日	ごみ収集量（単位：トン）				参加団体数
		可燃ごみ	不燃ごみ	汚泥	合計	
令和2年度 ※1	春（5月31日）	—	—	—	—	—
	秋（11月29日）	11.22	4.88	6.37	22.47	88団体
	合計	11.22	4.88	6.37	22.47	
令和元年度	春（5月26日）	14.49	4.48	6.80	25.77	86団体
	秋（10月27日）	15.39	4.93	5.89	26.21	87団体
	合計	29.88	9.41	12.69	51.98	
平成30年度	春（5月27日）	16.19	6.04	9.01	31.24	76団体
	秋（10月28日）	14.20	4.62	5.88	24.70	84団体
	合計	30.39	10.66	14.89	55.94	

※1 令和2年度春のきれいなまちづくり運動はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。
秋のきれいなまちづくり運動はオリンピックの影響により11月に移行。



【朝霞市コミュニティ協議会の取り組み】

朝霞市コミュニティ協議会では、清掃活動を通して黒目川沿いの景観保全をはじめ、住み良いまちづくりと地域への愛着を深めることを目的に、年1回、黒目川堤防清掃活動を実施しています。令和2年度は、令和3年3月14日（日）に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症に対する有効な対策を講じることが難しいと判断し、中止しました。

（3）環境に関する有識者の活用

市では、環境団体や環境に関する有識者を活用して、学校や地域、家庭や職場での環境学習をはじめ、自然観察や体験学習、環境保全活動を支援する人材の育成と活動支援に努めています。

5-2 環境パートナーシップによる取組の展開

(1) 環境保全行動の促進

市では、学校や地域、家庭、職場での環境保全活動に対する理解の向上に努め、市民等による自主的な地域の環境保全活動を促進するため、「広報あさか」や市ホームページに環境情報を掲載して、普及啓発を行っています。

また、職員一人ひとりが環境に配慮した暮らし方に取り組むエコライフDAYを夏、冬に各1日決め、CO₂削減量効果を確認するエコライフチェックを実施しました。この結果、令和2年度は、夏冬合せて2.6 tのCO₂を削減することができました。

(2) 市民団体の環境保全活動支援

① 朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会との協働

市のごみの減量化・再資源化をより一層推進するための情報拠点として、リサイクルプラザが平成12年7月に開所しました。開所当時から現在に至るまで、その事業運営については、行政と市民の「協働」という観点から、市民団体である「朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会」が担っています。

【令和2年度の主な取り組み】

総会	1回	スタッフ全員から企画提案された事業を検討し、年間の活動内容を決定します。スタッフの意見はこの場に集約されるようになっています。
スタッフ会議	4回	会議での協議事項や継続事業などについて全員で話し合い、決定しました。
スタッフ勉強会	1回	朝霞市のごみ処理の現状と今後について、資源リサイクル課の職員を講師とした勉強会を実施しました。

② あさか環境市民会議との協働

市の環境に関する施策を総合的、計画的に推進していくために策定した「朝霞市環境基本計画」に基づく「(仮称)朝霞環境フォーラム」の設立準備委員会が平成15年12月に発足しました。その後、この会の名称を「あさか環境市民会議」とすることとし、設立後は独立した団体として市民等が中心となって運営することが決定されました。

平成16年6月20日には設立総会が開催され、「あさか環境市民会議」が発足、現在は専門部会を設けて各部会のテーマに沿った活動を実施しています。

令和2年度は、あさか環境市民会議自然部会で実施している斜面林の保全活動や、団体自らが実施する事業等への支援や情報提供などを行い、自主的活動の支援をしました。

【令和2年度の主な取り組み】

運営会議	12回	市民会議の運営について具体的に検討しています。また、視察研修や各専門部会の開催内容等についても、この場で話し合われています。会員の意見はこの場に集約されるようになっていきます。
定期総会	1回	コロナウイルス感染拡大防止のため第17回定期総会は書面開催し、前年度の事業報告及び決算報告、また、今後の事業計画、予算案について審議を行い、会員に承認されました。
視察研修	0回	コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。
専門部会 (自然部会)	30回	岡斜面林、宮戸斜面林、根岸台自然公園・根岸台里山再生林において、雑木林の枝打ち、間伐、下草刈りなどの保全活動を実施するとともに、生息する昆虫や動植物の観察会を実施しました。
専門部会 (生活環境部会)	0回	例年、広報部会と合同で「あさか環境まち歩き(黒目川エコ探検)」を実施していますがコロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。
専門部会 (広報部会)	随時	例年、生活環境部会と合同で「あさか環境まち歩き(黒目川エコ探検)」を実施していますがコロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。市民会議が運営するホームページに活動予定及び、里山だよりを掲載いたしました。

(3) 環境保全活動団体の育成、ネットワークの形成等

自然環境や環境問題に関する市民団体等を把握し、情報の提供・交換・活用・協力等により、団体の活動支援並びに調査研究に努めていきます。

① 環境に関する市民団体

市内を中心に活動を行っている朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会やあさか環境市民会議などの環境保全団体の把握及び情報の提供・交換、活用するための調査研究に努めていきます。

② グランドワーク活動

グランドワーク活動(住民・企業・行政がパートナーシップを組み、地域環境を改善するとともに、持続可能な地域社会を構築する活動)の体制強化を図り、市民団体の活動及び自主的活動の支援をしています。